

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	街路事業				
地区名	都市計画道路 美合線				
事業箇所	岡崎市葦川町～竜泉寺町				
事業のあらまし	<p>(都)美合線は、JR岡崎駅を起点とし、岡崎市東部にて国道1号と連結する地区幹線道路である。</p> <p>このうち、当該事業区間の北側では、組合施行の葦川南部土地区画整理事業が展開されており、新たな住宅地へのアクセスとしても重要な路線となっている。また現道は、未改良で歩道のない道路であるため、交通安全上危険な状態にある。</p> <p>このため、「交通円滑化」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、車道拡幅、歩道設置を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通円滑化</p> <p>②交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H21)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H21～H30	H21～H30	—	
	事業費（億円）	13.9	14.2	—	
	経費内訳	工事費	5.7	5.7	—
		用補費	7.8	7.8	—
		その他	0.4	0.7	物件調査費の増加
事業内容	現道拡幅 延長：658m 幅員：18m 車線数：2	同左	—		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <p>藤川小学校の通学路となっており、岡崎東高校が近くにあるが、当該区間は、歩道のない約4mの道路で、自転車や歩行者の通行が危険な状況であった。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>当該事業区間658mの内、西端から260m（約40%）の整備が完了しているが、依然として未改良の区間は、大型車のすれ違いが困難な歩道のない道路であり、交通安全上も危険な状態である。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>変動要因はない</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		
		<p>【理由】</p> <p>現道は依然として歩道がなく、交通安全上危険な状態にあるため。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td></td> <td>2.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.5</td> <td></td> <td></td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.26</td> <td>0.26</td> <td>100 %</td> <td>0.66</td> <td>40 %</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>10.1</td> <td>10.4</td> <td>103 %</td> <td>14.2</td> <td>73 %</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> <td>100 %</td> <td>5.7</td> <td>72 %</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>5.6</td> <td>5.6</td> <td>100 %</td> <td>7.8</td> <td>72 %</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.4</td> <td>0.7</td> <td>175 %</td> <td>0.7</td> <td>100 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地取得の一部が先行取得済みであり、面積ベースの用地取得率は約93%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度末までに、事業区間0.66kmの内、0.26kmの整備が完了。 			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	工種区分	調査・設計	←										用地補償			←							→	工事			←							→	事業費(億円)	計画		2.6					7.5			3.8	実績		0.2					10.2					これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.26	0.26	100 %	0.66	40 %	事業費(億円)	10.1	10.4	103 %	14.2	73 %	工事費	4.1	4.1	100 %	5.7	72 %	用補費	5.6	5.6	100 %	7.8	72 %	その他	0.4	0.7	175 %	0.7	100 %
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																				
	工種区分	調査・設計	←																																																																																																													
		用地補償			←							→																																																																																																				
		工事			←							→																																																																																																				
	事業費(億円)	計画		2.6					7.5			3.8																																																																																																				
		実績		0.2					10.2																																																																																																							
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																											
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																										
	延長(km)	0.26	0.26	100 %	0.66	40 %																																																																																																										
事業費(億円)	10.1	10.4	103 %	14.2	73 %																																																																																																											
工事費	4.1	4.1	100 %	5.7	72 %																																																																																																											
用補費	5.6	5.6	100 %	7.8	72 %																																																																																																											
その他	0.4	0.7	175 %	0.7	100 %																																																																																																											
2) 未着手又は長期化の理由	事業期間は変更していない。																																																																																																															
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>一部の用地買収が未だ完了していない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>事業費ベースで、用地補償は約71%、工事も約71%進捗している。用地買収を完了するために、引き続き用地交渉を進め、平成30年度に事業完了の見込みである。</p>																																																																																																															
判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか</p> <p>○これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																															
	<p>【理由】</p> <p>引き続き用地交渉を進めることにより、平成30年度の事業完了が見込まれる。</p>																																																																																																															

Ⅲ 対応方針（案）	
継続	<p>中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間における交通事故発生状況（事故件数、事故類型等）を定量的に評価する。 ・自動車通行の快適性や自転車・歩行者通行の安全性に関するアンケート等により評価する。 	